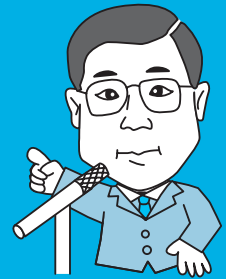


市長の まちづくりメッセージ

市役所では、毎月の初日に「市長のまちづくりメッセージ」を放送しています。市民の皆さんと『共創・協働のまちづくり』を進めていくため、その一部を掲載します。



「後期高齢者医療制度」 について

本年4月から始まった後期高齢者医療制度は、原則75歳以上の約1300万人を対象とする公的医療保険です。この制度は、少子高齢化に伴う医療費の増加に対応し、持続可能な医療保険制度を確立することを目的として施行されたものですが、制度の運用が始まった途端、連日のように、制度をめぐる多くの問題が報道される事態になっています。特にこの制度の説明不足がマスコミ等で指摘されていますが、何が説明不足で、なぜこのような事態が起きているのでしょうか。

収などが大きな原因ではないかといわれています。

市では市広報に特集記事を昨年から数回にわたり掲載し、すべての市民の方々に説明し理解を求め、さらには制度導入直前の3月25日号の市広報に「制度に関するQ&A」を折り込み、全戸配布しました。それでも4月1日から15日までに電話を中心に400件を超える問い合わせがありました。担当部署ではそれぞれ問い合わせに対して、丁寧に対応するとともに、出前講座などを活用し、市民の皆さんに対し、理解を深めていただく努力をしているところです。

このたびの事態について、我々は学ぶべき多くのことがあります。2年前の、医療改革法の成立から準備を進めてきた制度が、国民になかなか浸透しなかった理由は、時代に合った医療保険制度の改革や見直しは重要な課題ですが、行政側の都合だけで国民の目線に立った議論や説明が不十分だったからではないでしょうか。

職員の皆さんも、光市における今年度の事業や、今後の

施策を実施する上で、事前の準備段階から、しっかりと計画を立案し、実行、検証し、更に行動を起こす、いわゆる、PDCAサイクルに沿って進めていくよう、また、常に市民の方々の共創・協働や、市民の目線に立ち、説明責任を果たすよう努めてください。

「牛島恵比須祭り」 について

えびすまつり

先月20日、晴天の下、牛島恵比須祭が開催されました。この祭りは海上の安全と豊漁を祈願するため、江戸時代から続けられている牛島の伝統行事で、かつてはこの祭りに思いを寄せる多くの人々や見物客などでにぎわいを見せていました。最近では、過疎化や少子高齢化により、祭りへの参加者も減少し、神輿の担ぎ手も不足するなど、かつてのにぎわいが失われつつあります。そこで、祭りを少しでも盛り上げようと、市の水産振興担当職員や、その趣旨に賛同した有志の皆さんとともに私も参加しました。今年は事情により海上パレードは



行われませんでした。代わりに職員有志が参加したことから、十数年ぶりに神輿は台車を離れ、肩に担がれての御神幸となり、地元の人々からも非常に喜ばれ、祭りは例年になく盛り上がりを見せました。

ここ数年、職員有志が、室積早長八幡宮秋季大祭や、先般開催された、東荷神社や佐田八幡宮の御式年祭に一市民として参加しています。

実際に体験することは、文化や風習、さらには多くの地域の人を知ることができ、貴重な経験となります。地域の大切な文化や風習を守り続けるためにも、こうした経験を職務に生かすことを期待しています。